

# はじめに

## 本書の対象

このテキストは、日本語初級の学習が終わり、中級レベルの学習を始めて間もない人、現在中級レベルの学習を半ばまで進めている人、中級レベルは一応終わった人などが、中級文法関連の学習項目を全体的に見渡せるようにと作成したものです。中級レベルの学習は奥が深いので、どんなことをどう学習したらいいのかわからないまま、文型を次から次へと覚えることに終始することが多いように見受けられます。それよりも、中級文法の大切な学習ポイントの全体像をつかみ、初級の学習と関連づけながら学習するほうが有効ではないかと考え、本テキストの作成を試みました。

## 本書のねらい

本書は、『初級日本語文法総まとめポイント20』の姉妹編です。日本語とはこういうことに注意しながら学習するのがいいのだということがなんとなくわかってくれば、学習がしやすいのではないかと思い、初級の学習項目を整理して作成したものが『初級日本語文法総まとめポイント20』です。本書のねらいも初級編と同じです。中級レベルの大切な学習事項のアウトラインを示すことによって、効率のいい学習を促すことができればいいと考えています。

## 本書の構造

大切なポイントを20項目に分けて、次第に奥へ進めるように並べました。はじめに助詞など構造の面からの学習、そして、中級の大きな柱となっている複文の学習、わたし（話者）の気持ちを伝えるいろいろな言い方の学習、社会生活に溶け込むための運用面での学習へと進んでいきます。各課ははじめにスタートテストがあり、まず腕試しをやってみます。次にその課で学習するポイントの説明や例文があり、その後に、学習し

たことを確認するための練習問題が続きます。(文型の練習問題については、正しい文を作るための注意書きが別冊解答に加えてあります。)

課の最後に、まとめた文章の中での使い方を考える練習問題を加えました。

### 語彙と翻訳について

大切な説明部分は、3か国語（英語・中国語・韓国語）の翻訳をつけ巻末に収めました。また、2級レベル以上の語彙で、学習者のために訳が必要と思われる語には、3か国語（英語・中国語・韓国語）の訳をつけ、また、2級以上の漢字にはルビをつけました。

中級レベルの文法学習は、初級で学習したことの塗り固めのようなものです。妹編の『初級日本語文法総まとめポイント20』の学習が、姉編である本テキストによってさらにブラッシュアップされたら、著書としてこれに勝る喜びはありません。

妹編と同様、第一出版部の佐野智子さんには企画の段階から、全体の構成、学習者にわかりやすくするための工夫、説明事項の内容に至るまで、たくさんのアドバイスをいただきました。特筆すべきは、学習者のために、解説の翻訳と2級レベルの語の訳を巻末について使いやすくするというアイディアを思いついてくださったことです。心からお礼申し上げます。

また、原稿を若い世代の目でチェックし、語彙や表記などについてもわかりやすくするためにご指摘をくださった田中綾子さん、本当にありがとうございました。

2007年11月 著者

## 目 次

はじめに .....	III
接続のしかた .....	V
1 課 いろいろな働きをする助詞 .....	2
2 課 話題の取り立て .....	12
3 課 助詞の働きをする言葉 1 .....	18
4 課 助詞の働きをする言葉 2 .....	27
5 課 助詞の働きをする言葉 3 .....	35
6 課 名詞化の方法 「こと」と「の」 .....	43
7 課 複文構造 一複文の中の「は」と「が」・時制一 .....	55
8 課 名詞修飾 .....	62
9 課 複文を作る言葉 1 一時間一 .....	70
10 課 複文を作る言葉 2 一仮定の言い方・逆接の言い方一 .....	80
11 課 複文を作る言葉 3 一原因・理由を表す言葉・相関関係を表す言葉一 .....	89
12 課 否定の言い方 .....	99
13 課 わたしからの発信 1 一感覚・強い気持ち・不可能判断一 .....	106
14 課 わたしからの発信 2 一話者の推量・願望・感嘆・提案一 .....	114
15 課 決まった使い方の副詞 .....	123
16 課 接続の言葉 .....	136
17 課 語彙を広げる .....	148
18 課 硬い文章 .....	154
19 課 ていねいな言い方 .....	163
20 課 会話・文章のまとめ .....	176
コラム 「のです・んです・のだ・んだ」のいろいろ .....	54
「する」のいろいろ .....	69
「する」と「なる」 .....	98
会話でよく使われる終助詞 .....	122
感情・呼びかけ・応答などに使われる言葉 .....	147
どちらの立場で? .....	188
翻訳 (英語・中国語・韓国語) .....	189
(語彙 .....	263 )

# いろいろな働きをする助詞

具有各种作用的助词

여러 기능을 하는 조사

初級で学習した「が へ を で に から まで」などは文の構成に関わる大切な助詞です。このほかに助詞には、話者の気持ちやニュアンスを表すことができるものがあります。中級ではこのようないろいろな働きをする助詞を学習します。

## STARTING TEST

## スタートテスト

**問題** どちらか適当な方を選びなさい。

- 今では、インターネットで遠い国のこと { a しか b まで } すぐにわかる。
- お正月 { a ぐらい b ばかり } ゆっくり休みたい。
- 山田さんはわたしが困ったときいつも助けてくれる。山田さん { a こそ b まで } ほんとう本当の友だちだ。
- 田中さんは作家だ。ペンと紙 { a こそ b さえ } あれば、どこででも仕事ができる。
- 兄は物を作るのが好きだ。テーブルや椅子 { a こそ b まで } 自分で作る。
- 甘いもの { a でも b ばかり } 食べていると太ってしまう。
- きょうは一日中忙しくて、昼は30分 { a まで b しか } 休めなかった。
- きのうは8時間歩いた。きょうは足が痛くて立つこと { a でも b も } できない。
- あの人とは別れたい。あの人{ a なんか b まで } もう見たくない。
- ちょっと休んで、お茶 { a でも b ばかり } 飲みませんか。

## POINT

## ポイント1

## 限定の意味を添える助詞

(Particles to denote a limit / 带有限定意思的助词 / 한정의 의미를 더하는 조사)

助詞	どんな働き?	例文
だけ	限定を表す	どうしても納豆だけは食べられない。 毎朝20分歩くだけの軽い運動をしている。 母にだけは本当のことを言おう。
ばかり	同じもの、同じことが多い マイナスイメージ	母はいつも安いものばかり買う。 このごろわたしは失敗ばかりしている。 山田さんは授業中寝てばかりいる。
さえ	必要十分条件 (さえ~ば/なら)	雨さえ降らなければ、スポーツ大会は行われる。 君さえよければ、ぼくはずっと君のそばにいるよ。 年をとっても、体さえ丈夫なら心配はいらない。
しか	ほかにない、と 強調する (しか~ない)	ぼくの気持ちをわかってくれる人は君しかいない。 この病気を治す方法は手術しかないらしい。 だれも手伝ってくれない。一人でがんばるしかない。

問題1-1 [ ] もっと てきとう えらから最も適当なものを選んで \_\_\_\_\_ の上に書きなさい。

(一つの語を2回以上使います。)

だけばかりさえしか

1. 父は暇 \_\_\_\_\_ あればゴルフをやっている。
2. 今、冷蔵庫には卵 \_\_\_\_\_ 入っていない。この卵で料理を作ろう。
3. 他人の悪口 \_\_\_\_\_ 言うな。
4. この高校に入れるのは女子 \_\_\_\_\_ です。
5. 今は買わないで見る \_\_\_\_\_ よ。いいのがあったら後で買いましょう。
6. 彼の言うことはうそ \_\_\_\_\_ だ。
7. わたしは彼の子ども時代 \_\_\_\_\_ 知らない。彼が5歳のときから会っていない。
8. 天気 \_\_\_\_\_ よければ、毎週ハイキングに行きたい。
9. どうしたの？ 泣いて \_\_\_\_\_ いないで、ちゃんと話してよ。
10. きのうの試験で100点をとったのはクラスで田中君一人 \_\_\_\_\_ だった。

問題1-2 どちらか適当な方を選びなさい。

1. 行ったことがある国？ { a タイとアメリカ b いろいろな国々 } だけです。
2. 花子は辛いものばかり { a 食べる b 食べない }。甘いものは好きではないらしい。
3. この仕事は時間さえ { a あれば b あると } できる。
4. たくさんの歯ブラシが置いてありますが、ほかの人のものを使わないでくださいよ。自分のものしか { a 使ってくださいよ b 使ってはいけませんよ }。